令和8年度　年間指導計画　　沖学園高等学校　通信制課程

教科	家庭	科目	家庭基礎	履修区分	必履修	使用教科書	東京書籍『家庭基礎(002-901)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	

学習の目標

〇生活を科学的に理解し，自立した生活者に必要な知識・技能を身に付けている。
〇家族・家庭や社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し，その解決のために，生活を科学的に探究し、生涯を見通して生活を創造している。
〇自立した生活者に必要な知識・技能を身に付け，地域社会に参画し，共に支え合う社会の実現に向けて，家庭や地域の生活を創造し、主体的に実践しようとしている。

学習に取り組む際の注意事項

単位認定試験	添削指導，面接指導を全て修了後に受験。

単位修得（認定）に当たっての基準

評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導	単位認定試験	観点別評価 観点	観点別評価 評価規準
第1章　生涯を見通す 第2章　人生をつくる (P12～P37)	1	5月30日		知識・技能	・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 ・自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ・生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。 ・家族・家庭の機能と家族関係について理解を深めている。 ・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。
				思考・判断・表現	・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 ・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
				主体的に学習に取り組む態度	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
第3章　子どもと共に育つ 第4章　超高齢化社会を共に生きる (P38～P77)	2	8月4日		知識・技能	・生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。 ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 ・親の役割と保育について理解している。 ・乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 ・子供を取り巻く社会環境について理解している。 ・子育て支援について理解している。 ・高齢者を取り巻く社会環境について理解している。 ・高齢期の心身の特徴について理解している。 ・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 ・生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。
				思考・判断・表現	・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・子供の健やかな発達のために地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
				主体的に学習に取り組む態度	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
第5章　共に生き、共に支える 第6章　食生活をつくる (P78～P127)	3	10月17日		知識・技能	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。 ・食品の栄養的特質について理解している。・食品の調理上の性質について理解している。 ・健康や環境に配慮した食生活について理解している。・食品衛生について理解している。 ・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。・自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素について理解している。 ・目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。
				思考・判断・表現	・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・食の安全について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

			添削指導，面接指導から問題を選出し、出題する。	主体的に学習に取り組む態度	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
第6章　食生活をつくる 第7章　衣生活をつくる （P128～P165）	4	12月22日		知識・技能	・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。 ・被服材料について理解している。 ・被服構成について理解している。 ・被服衛生について理解している。 ・被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。
				思考・判断・表現	・食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
				主体的に学習に取り組む態度	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
第8章　住生活をつくる （P166～P185）	5			知識・技能	・ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。 ・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 ・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。
				思考・判断・表現	・住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
				主体的に学習に取り組む態度	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
第9章　経済生活を営む 第10章　持続可能な生活を営む （P186～P219）	6			知識・技能	・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解している。 ・生活情報を適切に収集・整理できる。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解している。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者保護の仕組みについて理解している。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題について理解している。 ・家計の構造について理解している。 ・家計管理について理解している。 ・生活における経済と社会との関わりについて理解している。 ・生活と環境との関わりについて理解している。 ・持続可能な消費について理解している。 ・持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 ・自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。
				思考・判断・表現	・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
				主体的に学習に取り組む態度	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。